

一般質問

- ネイブルスクエアの利活用について
- 地域審議会のあり方と行政手法について

田辺 寛治 議員

質問 ネイブルスクエア利活用についての検討と経過、進捗状況は。

（商工観光部長） 渋川西バイパス計画で、移転予定の県営住宅入沢団地の移転先として県と調整中です。

質問 利活用に伴う検討内容は。

（商工観光部長） 市の負担により1階部分の活用が可能なため、地元協議会を立ち上げ検討しています。



活用が待たれるネイブルスクエア

質問 一階部分の活用については。

（商工観光部長） 地元協議会からは多目的交流センター等の設置について意見をいただいています。

質問 学校区の変更は。

（学校教育部長） 学校の児童生徒数減少により、通学区域を見直すことは難しいと考えています。

質問 地域審議会の仕組み、目的設置に至る経緯、人選と位置づけ。

（企画部長） 地区の要望を反映するため、地区毎に公共的団体等の代表者20人以内で構成されています。

質問 地域審議会での議題と発言。
（企画部長） 予算・決算などに関しご意見をお伺いしています。発言しやすくなる工夫もしています。

質問 発言が事業になった事例は。
（企画部長） 発言は市政推進の参考としますが、事業の実施は総合的に検討し、判断しています。

質問 施設整備にあたり、談合報道に対する入札における市の考え。
（副市長） 公共工事等の入札にあたっては、引き続きその透明性、競争性、公平性の確保に努めます。

質問 現施策と将来を見据えた市長の政治、行政手法は。

（市長） 減債基金や地域振興基金の積立、事業の見直し等により、財源の裏付けのもと事業を進めます。

議会改革委員会の報告

議会改革委員会では、平成23年度策定した目標計画に沿って中期の目標である市民に開かれた議会を目指し、本会議のインターネット動画配信、その他を協議してきました。

インターネット動画配信に関しては、議会改革委員会と同メンバーで構成される議会運営委員会が前年に引き続き県外先進自治体への視察調査を行いました。また、県内他市の状況等を調査し、協議してきました。

そして、カメラや録画・録音・配信機器等について、当市議会としてはどのような体制でいくか、各党派に持ち帰り委員会でも再度検討しました。

その結果、既存の配信機能を利用して、比較的安価なものを導入してはどうかとの意見が出されました。委員会では市民に対し早めの情報発信を行い、来年度の導入に向け財政局に要望することと

しました。

また、長期の検討目標として平成26年下期までに検討を予定していた議員定数、政務調査費、議員報酬のうち、議員定数に関しては、早めに協議したほうがよいという意見が出されました。民意を市政に反映する重大なことなのでまず各党派の議員の意見を聞き、委員会にて一定の方向を出していくという事で何回かの委員会での議論を経て、現在の社会情勢、行財政改革の推進、市民感情等を考慮して削減するという事に決まりました。削減人数については、これも各党派、各議員の意見を出してもらい何案が出されましたが、熟慮の結果、4人減の定数22人とし、次回施行される市議会議員選挙から適用することに決まり、12月定例会最終日の本会議に議員提案として提出することに決定され、議会運営委員会へ上申しました。

定数削減については、議会の姿勢を速やかに市民の皆さまにお示しをするために、今回決定させていただきました。また、これからも、市民のための市政の実現のために、議会人としてより一層努力を傾けていきます。